

令和5年度 第2回 藤沢市立湘洋中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年7月4日（火）14時～16時

場 所 藤沢市立湘洋中学校 視聴覚室

出席委員等	<p>品田 雅（会長・辻堂東地区主任児童委員） 濱本 龍彦（ネットワーク湘南堂夢会長） 齋間 道雄（辻堂地区青少年育成協力会会長） 松浦 邦恵（辻堂東地区民生委員） 近藤 眞由美（辻堂東海岸2丁目町内会副会長） 蜂須賀 直（前湘洋中学校PTA会長） 叶多 弘和（元湘洋中学校PTA会長） 横田 純一（辻堂市民センター長） 村上 純子（社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会辻堂地区コミュニティソーシャルワーカー） 坪谷 麻貴（副会長・湘洋中学校校長） 繁里 勇（湘洋中学校教頭）</p> <hr/> <p>出席委員 11名（欠席委員：3名） 事務局 本室 貴子（湘洋中学校教諭） 傍聴人数 0名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 校内見学 3. 議題 (1) 学校・生徒の様子について (2) 湘洋中学校の生徒をとりまく課題について ・不登校生徒への支援について ・部活動の地域連携について ・いじめ防止対策について 4. その他 次回の会議日程 5. 閉会</p>
協議内容	<p>（意見等） 3. (1) について 委員：校内見学を終えて、どの学年も元気が良いと感じた。 委員：あいさつをよくしてくれる。 委員：ジャージ登校から標準服に変わった。マスクは外している子、つけている子それぞれ。 委員：学年、クラスによって差はあるが、空いている席が気になった。 委員：タブレットを使った授業。タブレットは持って帰らないで、身につくのであろうか、と感じた。 委員：スクリーンを使った授業で効率が良く、生徒を見る時間が増えていると感じる授業もあった。</p>

3. (2) 不登校生徒への支援について

委員：市内や全国で不登校が増えていっている。それぞれ個々の事情があると思うので、それに対して大人から何ができるのか、考えさせられる。

委員：不登校は、学校だけではなく地域、家庭など多様な原因が絡み合っている。解決には地域、福祉、民生委員さんなどの協力が必要であると感じる。

委員：「ヤングケアラー」が不登校の原因になっている家庭もあるのでは。また発達障がいなど、さまざまなケースの原因など対応の難しさを感じる。

委員：「学校に通ってよかった」と感じられるような支援を第一に。ただ座っている授業ではなく「体験活動」を交えてのびのびとできる活動の提供を。

委員：不登校生徒には「自信がない」という共通点を感じる。学校の配布する資料から、保護者が「うちはこの支援につながるのでは？」などの情報を得ることができたり、保護者同士の情報交換ができる場もあったりするとよい。具体的な何かを次回の協議会で考える時間になればと思う。

委員：「逃げるが勝ち」という考え方もある。夏休みが近い。市民センターや図書室、交流スペースが地域にある。学校に居辛かったら、という声かけを学校からの発信物に載せて、生徒に知らせていただければと思う。

委員：この学校運営協議会として、地域性等も考慮した不登校支援のリーフレットを作成することなども考えられるのでは。

3. (2) 部活動の地域連携について

学校：藤沢市では、「生徒が学校を卒業した後も、生涯にわたって運動・文化活動を楽しむことができる未来を目指し、部活動の地域連携・地域移行に取り組む」という考え方のもと進めている。本校についても、子どもたちのスポーツ・文化活動を持続的に支える体制を築くために、地域の方々とのような連携ができるか、今後、協議していきたい。

3. (2) いじめ防止対策について

委員：いじめの過去の事例から、解決への調整として大人が力をかす必要があると感じた。

委員：「いじめ防止」については、中には「いじめ」ではなく「犯罪」というべきものもあると思っている。逃げ道にならないように「いじめ」の悪さを伝えることが大切だと感じる。

委員：昔と違い、今のいじめはスマホ等、見えない部分でのいじめになっている。大人も気づきにくく、難しくなっていると感じる。

委員：いじめに関しては、基本方針を学校HPに公開してくださっており、子どもにも保護者にも「我慢しなくて良い」と発信していただいていると感じる。

次回開催日程 2023年9月12日(火) 14時～
場 所 藤沢市立湘洋中学校 視聴覚室